

# 地域おこし協力隊の活動日誌

地域の新しい活力をめざして



富田小学校では毎年、総合的な学習（るびなす）の時間を使って、新富町のことを学びます。今年の6年生は、発見した新富町の魅力を伝えるため、チラシ・リーフレットを作ることになりました。



そこで、広報業務に携わっている二川智南美隊員が、こゆ財団の広報グループリーダー・矢野由里さんとともに登壇し、どんな工程を踏んで制作しているのかを語りました。

にどんな工夫を込めているのかを語りました。

富田小学校の児童、富田中学校の生徒ともに、魅力を発信する方法がたくさんあることを学んでいただけたら幸いです。

地域おこし協力隊員の活動をお伝えするこのコーナー。

今回は富田小学校・中学校で表現をテーマに登壇した隊員の活動と、選挙啓発活動について紹介します。

## ②JA直売所などで選挙の啓発活動を実施

富田中学校でも同じように、新富町の魅力を発見する授業がありますが、現在の1年生は、昨年チラシ・リーフレット作りを経験しています。そこで、「チラシ・リーフレット以外に、どんな表現方法があるのかを知る」をテーマに、中山雄太隊員、甲斐隆児隊員、二川隊員が登壇しました。

カメラマンである中山隊員は、新富町に来ようと経緯や、町内でどんな人や風景を撮影してきたか、実際に撮った写真や映像を見せながら熱弁しました。

人の身長よりも大きな自作の油絵を持参してきた甲斐隊員は、多様なアートの手法を試し、油絵に

たどり着いた経緯から、自分に合った表現を「選ぶ」大切さを伝えました。また、「自分で表現方法を選ぶ」ことを体験してもらうため、ポストカードに感じていることを自由に書く（描く）ワークも行いました。

二川隊員は俳句歴11年、大学時代の専攻が俳句という一面を持っています。生徒たちには、一部が空欄になつた俳句に好きな言葉を入れてもらい、俳句の表現の奥深さや、自由で親しみある表現であることを伝えました。

今後も町中で協力隊の姿を見かけることがあるかと思います。ぜひ気軽に声をかけてください。



7月10日に実施された、第26回参議院議員通常選挙。選挙への投票参加を促すため、ヴィアマテラス宮崎に所属する隊員たちが、選挙啓発活動を行いました。



今後も町中で協力隊の姿を見かけることがあるかと思います。ぜひ気軽に声をかけてください。

（文・地域おこし協力隊二川）